

## ● ● ● ● 臨海研究所のあゆみ ● ● ● ●

- 18世紀 松前藩が現在の臨海研究所の場所に「沖之口番所」をはじめ  
移設（のちに「沖之口役所」→「海官所」→「海関所」に名称変更）
- 1854年 米国東インド艦隊司令長官ペリー提督が率いる艦隊（安政元）  
が沖之口役所沖に碇泊し この地より上陸（現在ペリーロード散策コースのスタート地点）
- 1872年 建物の一部を「函館郵便役所」として開所（道内初の郵便局 1979年に「箱館郵便役所跡の碑」建立）  
（明5）
- 1875年 「函館船政所（はこだてふなあらためしょ）」に名称変更 函館郵便役所は新庁舎に移転  
（明8）
- 1878年 米国の動物学者エドワード・モースが来函（明11）  
建物の一部を「臨海実験所」とし 海藻や貝類などの研究を行う（江ノ島臨海実験所に次ぐ 日本で2番目の臨海実験所）
- 1885年 函館船政所を飯庁舎として「函館水上警察署」開署  
（明18）
- 1926年 函館水上警察署の建物を新築（現在の前身の建物）  
（大15）

- 1952年 「函館西警察署」に名称変更（昭27）
- 1984年 西警察署が海岸町に移転（昭59）  
建物は道内最古の警察署庁舎として保存
- 1989年 「旧函館西警察署」の建物が函館市都市景観条例に基づく景観形成指定建築物等に指定  
（平1）
- 2006年 建物が現在の耐久・耐震基準に合致しないため 外壁の一部部材の再利用および外壁立面を忠実に再現することで 建物を解体・復原  
（平18）
- 2007年 函館市臨海研究所として開所（平19）  
（景観形成指定建築物等として指定継続）

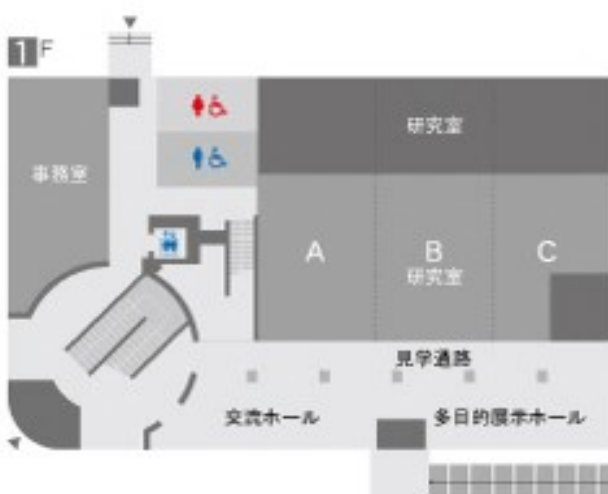


函館水上警察署（函館市中央図書館所蔵）

## ● ● ● ● 施設のご案内 ● ● ● ●



● メモリアルホール ●  
函館西警察署庁舎の歩みをご覧ください。



● 交流ホール ●

## ● ● ● ● 料金 ● ● ● ●

大会議室	35.6㎡	16席	350円	1時間までごとに
中会議室	27.0㎡	12席	250円	
小会議室	16.6㎡	8席	150円	